

マレーシアと省エネ支援に関する令和4年度第1回オンラインセミナーを開催しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和4年度もマレーシアとの二国間省エネ協力事業を実施しています。今年度の活動予定の一つでありました「判断基準」（Energy Conservation (EC) Guideline）に関するオンラインセミナーを、2022年8月25日にマレーシアのエネルギー天然資源省他に対して開催しました。



1. セミナー参加者：

- (1) マレーシア側：エネルギー天然資源省 (MENR/KeTSA) Ida博士 (Under Secretary) 他5名、SEDA (持続可能エネルギー開発庁) Lojuntin氏 (Director) 他1名、科学技術革新省 3名、公共事業局 5名、経済企画局 1名、マレーシアESCO 2名、他の機関2名、計21名
- (2) 日本側：ECCJ国際協力本部 8名

2. セミナー概要：当初はEC Guidelineとパイロット事業に関するセミナーの予定でしたが、後者への参加希望企業が確定できなかったことがあり、今般はEC Guideline関係のみとして、パイロット事業に関するものは後日改めて開催することにしました。

- (1) 講義名：“Enforcement of the Energy Management by Energy Conservation Guideline and Energy Management Manual”
- (2) 講師：苗加順一 ECCJ 国際技術専門家
- (3) 講義項目：① Outline of EC Law, Japan, ② Energy Management System, ③ Energy Conservation Guideline (ECGL), ④ Energy Management Manual (EMM), ⑤ Application of ECGL and EMM in India and Thailand
- (4) 講義概要：EC Guideline (ECGL) に関して質疑応答を含めて2時間20分、講義を行い、チャット等での質問12件に対応しました。またインドとタイでのECGLの導入事例を紹介しつつ、マレーシアでもエネルギー管理の促進ツールとして推奨しました。
- (5) 主要質疑：ECGL制度、SABC評価制度、Benchmarkに関する質問や再生可能エネルギーを含めたエネルギー管理への質問が活発にあり、大いに参考になったとの感想がありました。

3. 今後の予定：ECGLへの今後の取り組み構想のフォローと、今回同時開催が出来なかったパイロット事業紹介セミナーの年度内開催の検討を継続します。

以上